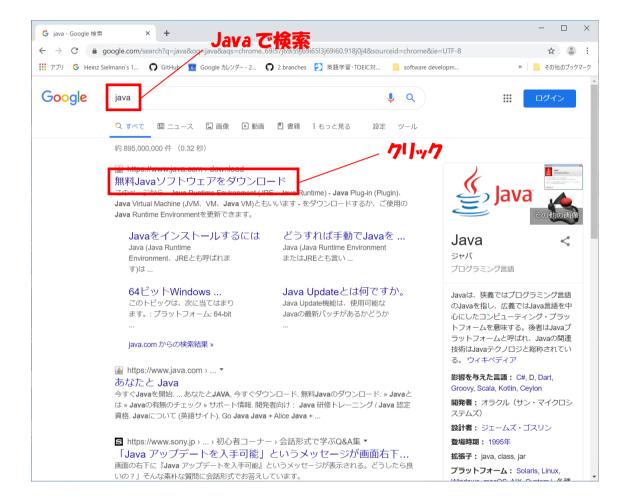
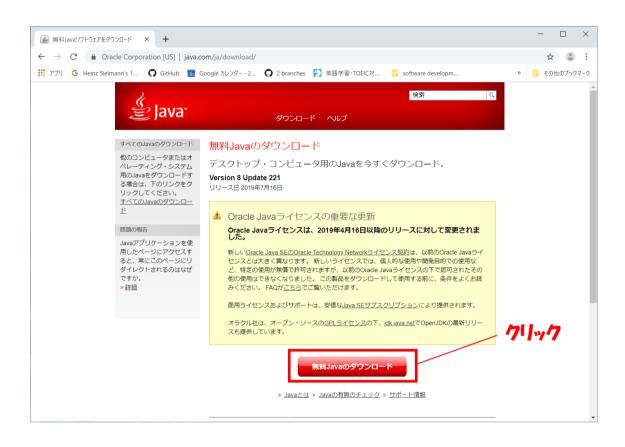
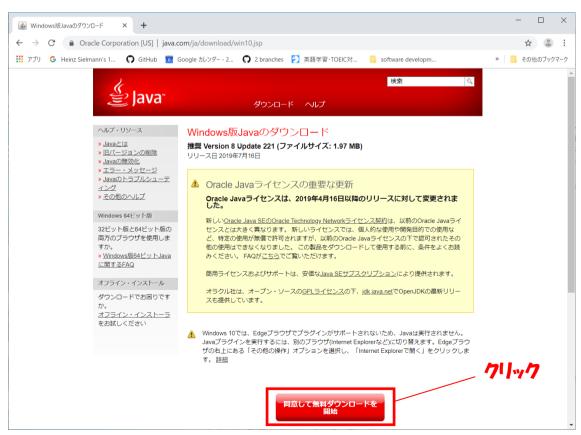
1. Android アプリの開発環境の構築

1.1 Java のダウンロードとインストール

Android アプリの開発言語は Java と Kotlin ですが、ここでは Java を使います。 Java の実行環境がインストールされていない PC では、以下のようにして Java の実行環境をインストールしてください。



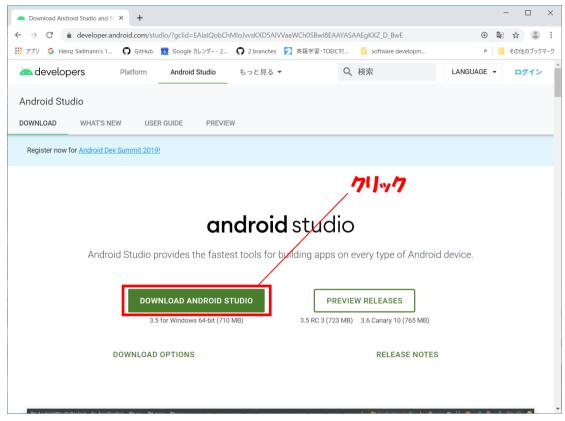


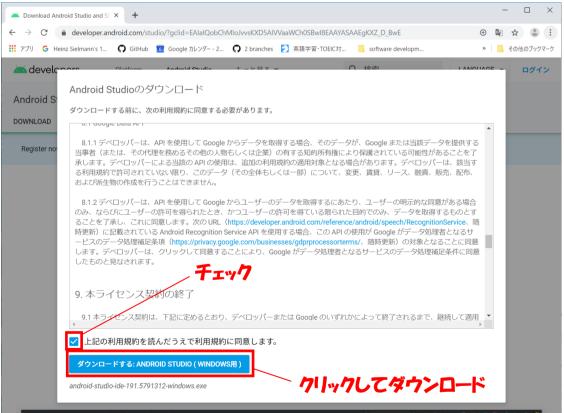


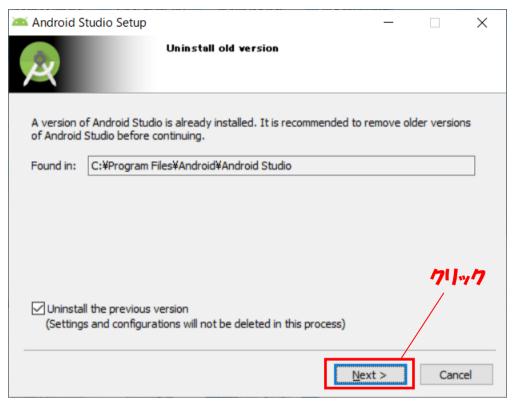
1.2 Android Studio のダウンロードとインストール

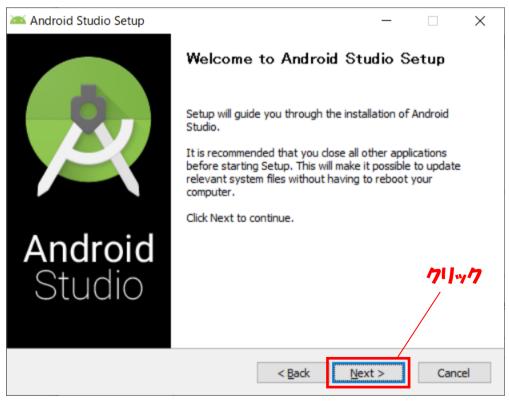
テキストエディタを用いれば、どんなプログラミング言語のソースコードも入力することができます. しかし近年では. ソースコードの編集、コンパイル、実行、デバッグなどを同一の環境で行うことができる統合開発環境(Integrated Development Environment, IDE)が使われることが多くなってきています. Android アプリの開発では通常 Android Studio という IDE が使われます. Android Studio では、Java や Kotlin を用いて Android アプリを容易に開発できます. 以下のようにして Android Studio をインストールしましょう.

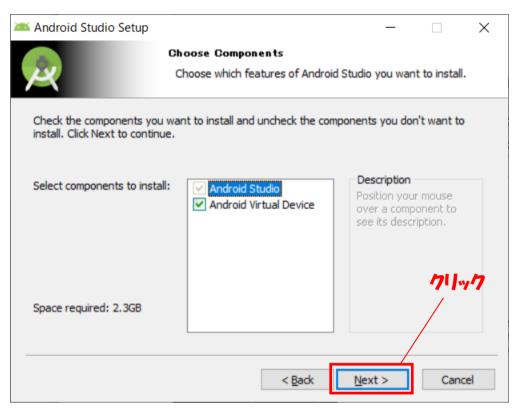


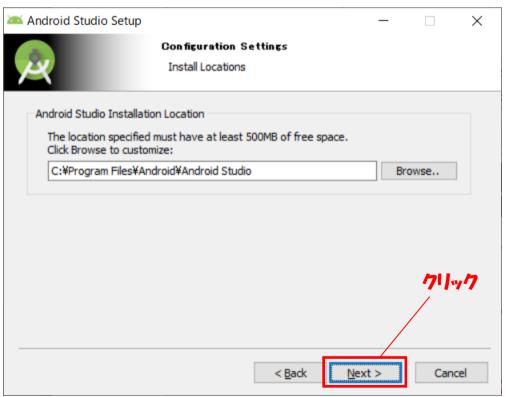


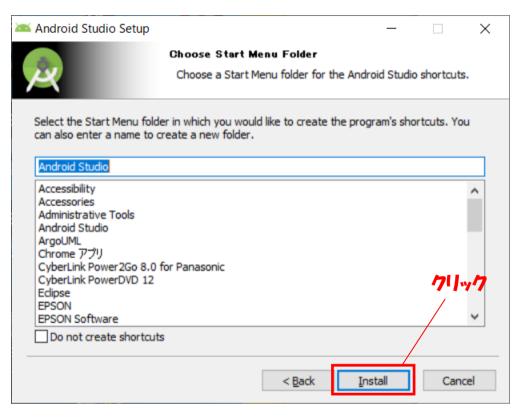


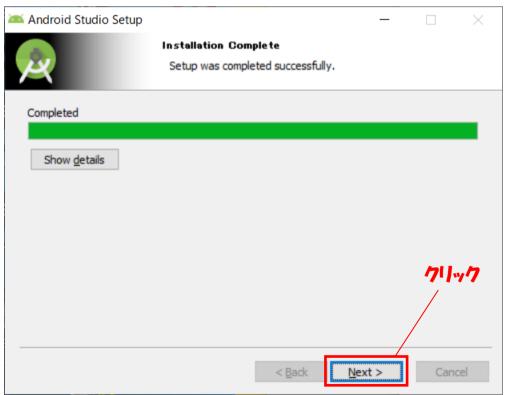






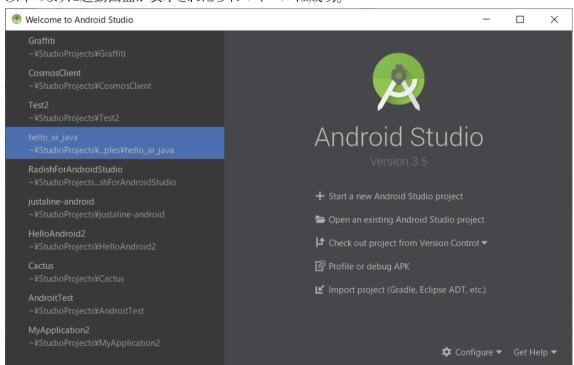






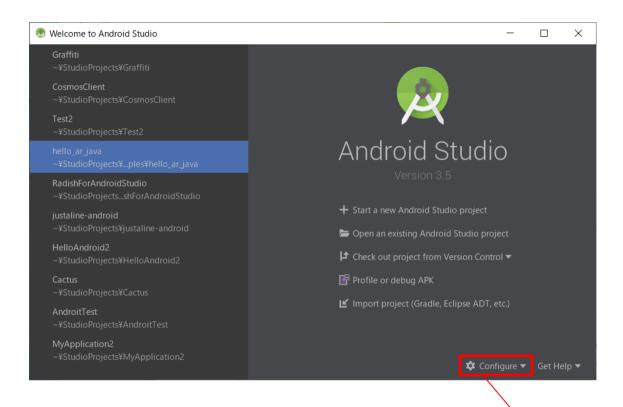


以下のように起動画面が表示されたらインストールは成功。

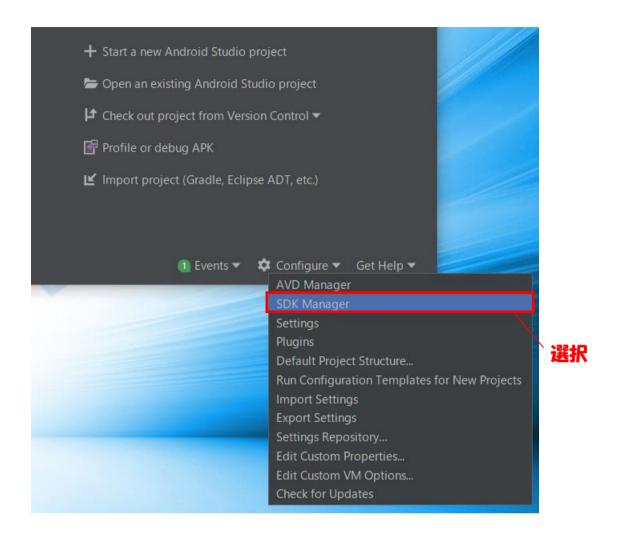


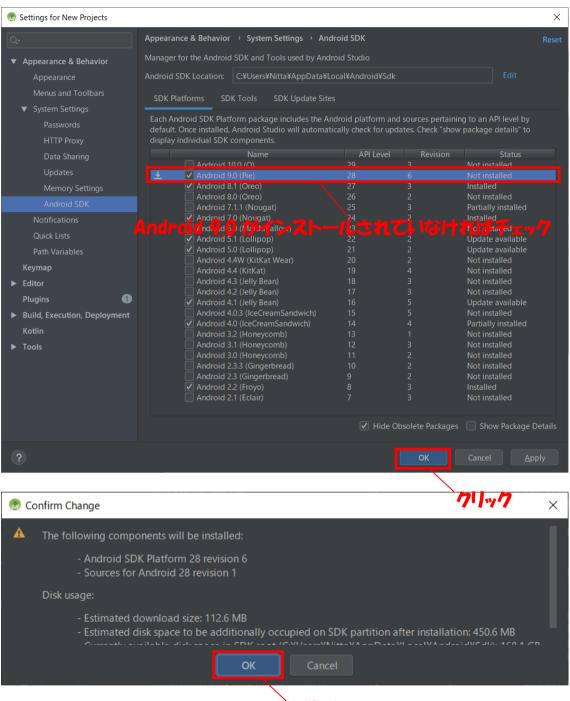
1.3 Android SDK のダウンロードとインストール

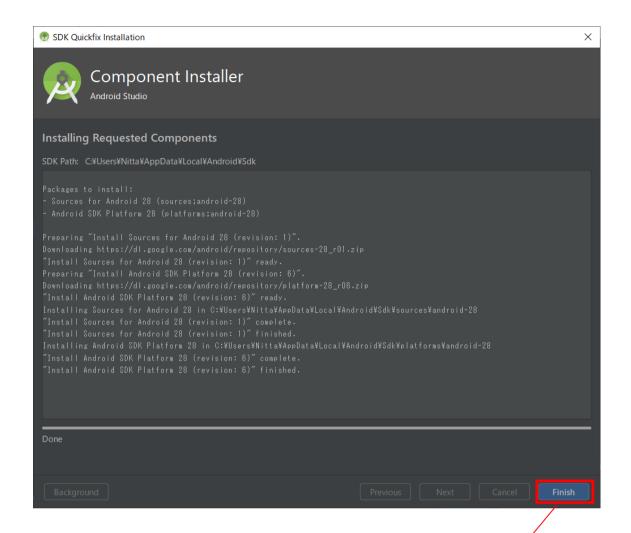
Android のアプリを開発するには、アプリを動作させたい Android のバージョンに合わせた SDK が必要になります。 ただし、 最新版の SDK は環境によって動作しない場合もあるので、ここでは Android 9.0 (Pie)用の SDK をインストールします。 SDK のインストールは、起動画面の Configure から SDK Manager を起動して行います。



クリック



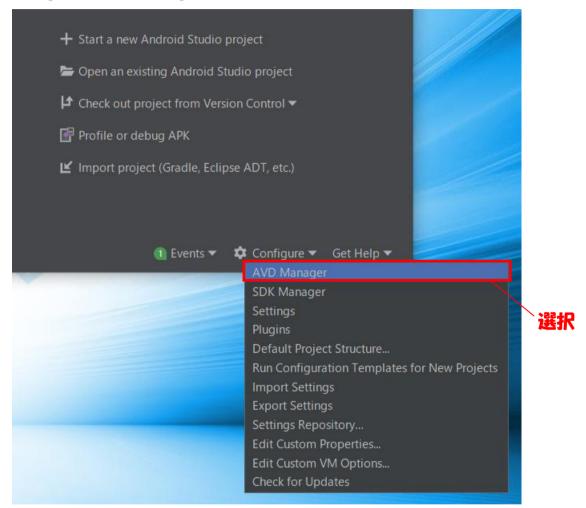


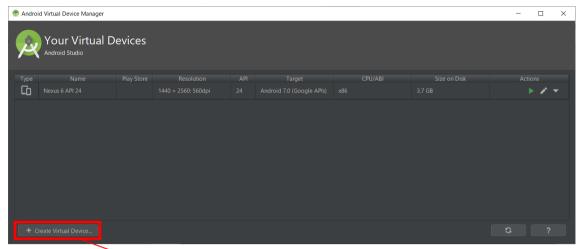


クリックして終了

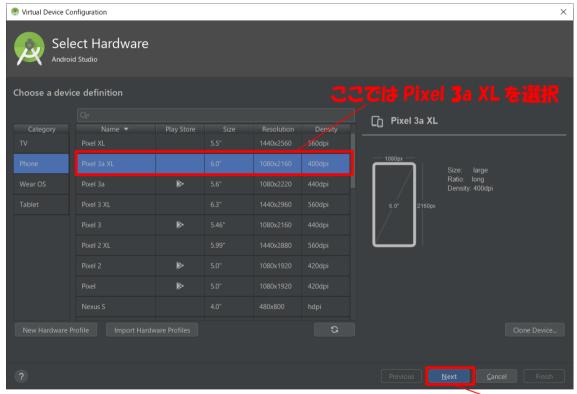
1.4 Android 端末エミュレータの設定

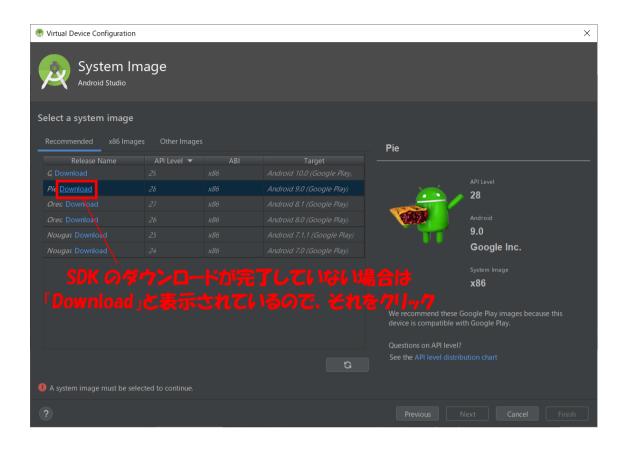
Android アプリの開発とテストはすべて PC 上で行います。そのため、PC 上で Android 端末を模倣するエミュレータをインストールする必要があります。エミュレータは端末の種類に応じていくつも作成することができます。エミュレータの作成は起動画面の Configure から AVD Manager を起動して行います。

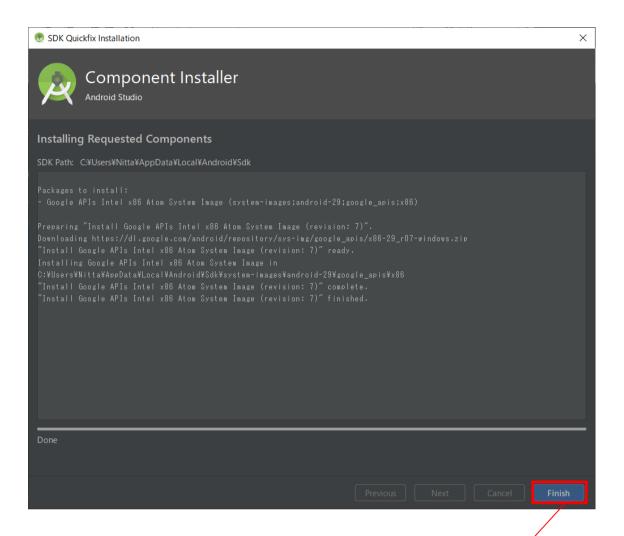


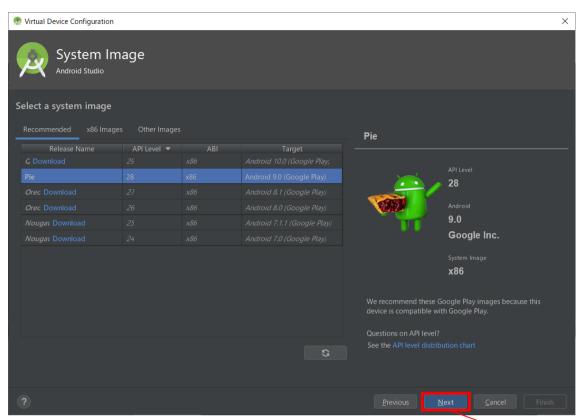


ークリック









クリック

